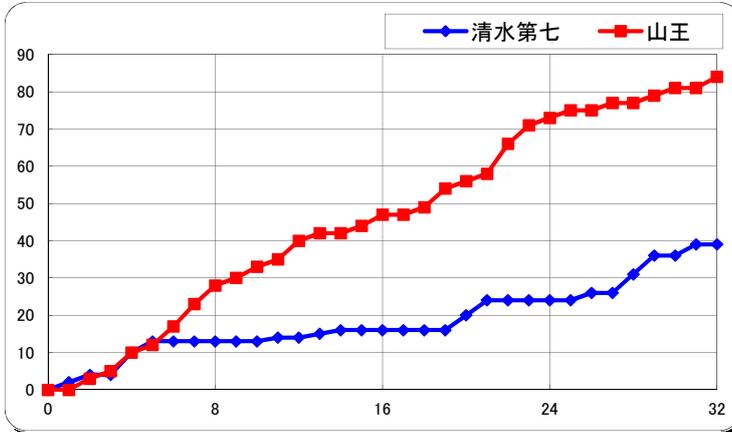




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会		
会場	春日部市総合体育館		
日時	平成24年8月22日(水) 13:30		
コート	Fコート	第4試合	
カテゴリー	男子	予選Fリーグ	
主審	大野 哲広 (奈良県)		
副審	東條 輝正 (東京都)		
Team A	清水第七 (静岡県)	Team B	山王 (秋田県)
	39	84	
		13 1st 28	
		3 2nd 19	
		8 3rd 26	
		15 4th 11	
		OT	

【BOXスコア】

Team A		清水第七						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	高橋 佳希	×	0	0	0	0	0	
5	植田 光樹	×	11	3	0	2	2	
6	柴山 泰雅	×	21	2	6	3	2	
7	久慈 真樹	×	4	0	1	2	1	
8	杉山 航平	×	0	0	0	0	2	
9	愛智 廉真	／	0	0	0	0	0	
10	橋本 悠真	／	0	0	0	0	1	
11	高橋 昂希	／	0	0	0	0	0	
12	石月 一晟	／	3	1	0	0	0	
13	若杉 佳孝	／	0	0	0	0	0	
14	須崎 翔哉	／	0	0	0	0	0	
15	長下 拓海	／	0	0	0	0	0	
16	鈴木 文也	DNP	0	0	0	0	0	
17	永松 僚佑	／	0	0	0	0	0	
18	井上 凌輔	／	0	0	0	0	1	
監督	大城 健太郎						0	
コーチ	毎熊 省一						0	
合計			39	6	7	7	9	

Team B		山王						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	成田 岳	×	19	5	2	0	0	
5	鈴木 海星	×	2	0	1	0	1	
6	杉本 天昇	×	22	2	7	2	0	
7	渡邊 愛大	／	12	4	0	0	1	
8	小野 圭介	×	7	0	3	1	3	
9	伊藤 慶一郎	／	6	0	3	0	4	
10	三浦 拓郎	／	5	0	2	1	2	
11	川村 裕太郎	×	9	1	3	0	1	
12	佐藤 聖	／	2	0	1	0	0	
13	高木 和仁	／	0	0	0	0	0	
14	大森 宇栄	／	0	0	0	0	0	
15	佐藤 凧斗	／	0	0	0	0	0	
16	長谷部 海斗	DNP	0	0	0	0	0	
17	安杖 海人	DNP	0	0	0	0	0	
18	古宇田 曜平	DNP	0	0	0	0	0	
監督	小納 英之						0	
コーチ	齊藤 徳子						0	
合計			84	12	22	4	12	

【戦評】

予選Fリーグ2試合目、東海ブロック代表清水第七（静岡）と東北ブロック代表山王（秋田）の一戦。1Q、清水第七はハーフコート1-3-1ゾーンDef、山王はオールコート2-2-1ゾーンプレスからの2-3ゾーンDefでスタート。両チームとも#6を起点としたオフェンスが特徴である。開始当初はロングシュートの打ち合いとなり、両チーム合わせて8本の3Pが決まる。山王は#4の3P4本を含めた連続16得点をあげ、清水第七13-28山王で終了。2Q、清水第七はハーフコートマンツーマンDefに切り替える。山王は#6を中心にOffを組み立て、インサイド、アウトサイドと清水第七のDefを揺さぶる。また、Offリバウンドを取り確実に得点に結びつける。清水第七は厳しいDefに対して、フロントコートへボールを運ぶものの、そこからのハーフコートOffに苦戦し、4分経過してもフリースローの1点しか取れずタイムアウトを取る。その後も、シュートを打つがリングに嫌われ、フリースローでの3得点のみに終わってしまう。清水第七16-47山王で前半終了。

3Q、清水第七は、ボールが回り始めシュートも入り始める。山王も#4や#6が得点をあげ、お互い一進一退の攻防が続く。山王#7の3Pが効果的に決まり、清水第七24-73山王で終了。4Q、清水第七はオールコートマンツーマンDefに切り替え追い上げを図る。シュートまでは行くものの、山王の固いディフェンスに阻まれ、なかなか得点をあげることができない。終盤、清水第七#5の3P、#6のロングシュートなどで連続得点をあげるが、無情にも試合終了のブザーが鳴り、清水第七39-84山王で試合終了。両チーム合計18本の3Pが決まり、外角からのシュート力が印象に残った。積極的にシュートを狙っていく姿勢を見せた両チームを讃えたい。

【戦評記者】

高橋 真也

埼玉県中学校体育連盟 バスケットボール専門部